

2024年3月28日 NO.138号 障害児・者サークル通信

発行：性教協★障害児・者サークル事務局
一般社団法人“人間と性”教育研究協議会（性教協）本部・事務局
〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目7番16号 初台ハイツ1006号
HP <https://shogai.ji-sha.seikyokyo.org>



●特集 第29回障害児・者セミナー IN 岐阜報告	
全体会：千住真理子さん講演会	1
分科会①学齢期 障害のある子どもの包括的性教育 実践報告	2
分科会②青年期 ワンチームドリームトライの性教育実践・グループトーク	3
参加されたみなさんからの感想・青年たちより	4
●連載（第5回）「軽度知的しょうがいの青年たちの恋愛、性交、出産、子育て」	
ささやかな支援ではありますが…	6
支援者に性的被害を受けたAさんへのお産、子育てについて	7
●第9回「せいかつをゆたかに障害児・者性教育セミナー」を終えて	8

特集：第29回障害児・者セミナー IN 岐阜報告

日時：2024年2月18日

主催：“人間と性”教育研究協議会障害児・者サークル/障害児・者性教育セミナー 岐阜実行委員会

今回のセミナーのテーマは、対話をとおしてまなびをつくる みんなでたのしく「ふれあおう かりあおう つながろう」です。岐阜の実行委員会では開催するなら「青年たちと一緒に楽しくわくわくしながら性教育を学んでいる、この雰囲気を変えたい」という思いをいちばんに考えました。コロナ禍の4年間、いろいろ制限されましたが「今、何ができるのか」「何を大切にしたいのか」を考え性教育の学びを続けてきました。そして2月18日、参加者約100名の方たちと学ぶ場を開催することが叶いました。

講演会の講師は千住真理子さん（せいかつをゆたかに実行委員会・福祉型専攻科ぼろろスクエア）。お話のタイトルは「自分で決めていよいよ～これからのこと、性のこと～」。千住さんは優しく語りかけるように進めてくださり、いろんな立場の参加者や仲間たちが大きくうなずきながら耳を傾けました。ぼろろスクエアに通う学生の姿やエピソードを含め、卒業後の学びの必要性について、グッドライフ（進路と性教育）の授業を中心に、わかりやすく紹介。進路と言っても進学や就職を決める狭い意味ではな

く…自分で選んで生きていく、どう働くのか、何をしたいか、どんな暮らしがあるのか、好きな人と暮らす？…自分の暮らしをつくっていくときに必要なことも学ぶことができる授業です。「進路と性教育はリンクしている。幸せに生きるために学びます」と大切なキーワードとして話されました。

また、ぼろろスクエアでは「わかりません」「イヤ」と言うと褒められるという話では、ここまでの育ちの中で苦労していると「いや」と言うてはいけなと思っています青年がいること、千住さんには、自分の殻を破って「いや」を言えるようになってほしいねがいがあり、会場でも「いやって言うていいんやで～」と仲間たちにも何度もささやいてくれました。

後半は、障害のある青年たちが参加して相談についてのロールプレイを具体的にやり取りしながら進みました。相談員と直接お話できていない青年、相談員がいるか？いないか？わからない人も少なくありません。そして、本当に相談したいことは相談できていない現状がありました。

千住さんが「相談は誰にする？」と問いかける